

前期後半スタート!目標に向かって確かな歩みを!



32日間の長い夏休みが終わり、学校にまた元気ある子どもたちの姿が戻ってきました。私たち教職員にとって、子どもたちが笑顔で学校に来てくれることが一番の喜びです。一人一人を大切にしながら自己肯定感を高め、子どもたちが意欲的に学べる学校づくりに引き続き努めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



さて、今日の全校集会で、私から子どもたちに次のようなお話をしました。

「継続は力なり」そして、「当たり前」の大切さ

アメリカ・メジャーリーグで二刀流として活躍している大谷翔平選手は、高校1年生の頃「ドラフト会議で8球団から1位指名される」という目標を立て、その目標を達成するために、「体力を付けること」や「160km/hのボールを投げること」、「変化球を身に付けること」等、8つの項目を設定した。この8つの項目の中には、野球とはあまり関係がないと思う「運」や「人間性」が含まれている。そして、8つの項目を達成するための具体的な目標もそれぞれ8つずつ考えた。



大谷選手は、「8球団から1位指名される」という大きな目標を達成するためには、野球の技術を伸ばすための練習だけでなく、「運を自分にたくり寄せること」や「人間性を磨くこと」も大事な要素だと考えたのだと思う。世界有数の野球選手になっても、常に礼儀正しく、思いやりのある選手なので、誰からも愛され、応援されているのだと思う。

今日の大谷選手の話を通して伝えたいことは、次の2つである。

① 「継続すること」の大切さ

大谷選手は、ゴミ拾いだけでなく、高校1年生の時に立てた目標のいくつかを今でも続けている。目標に向かって取組を継続していても必ずしも夢が達成されるとは限らないが、続けていく（やり通す）過程こそが大事で、それがきつと何らかの自分の力になっていく。

② 「当たり前」の大切さ

大谷選手は、あいさつやゴミ拾い、掃除、感謝の気持ちなどの「当たり前」のことも大切にしている。

体力	コントロール	キレ
メンタル	ドラ1 8球団	スピード 160km/h
人間性	運	変化球

感性	愛される人間	計画性	あいさつ	ゴミ拾い	掃除そうじ
思いやり	人間性	感謝	道具を大切に扱う	運	勝利さんへの態度
礼儀	信頼される人間	継続力	プラス思考	応援される人間になる	本を読む

寄付金をいただきました

夏休み期間中の7月27日(木)、「大曲西中学校第十二期会古希祝同期会」様より本校へ寄付金をいただきました。心よりお礼申し上げます。

いただいた寄付金は、来年度予定されている「創立150周年記念式典」の資金として、大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



8月行事予定

- 21日(月) 全校集会・地区子ども会
全校チャレンジテスト計算③
身体計測週間(～8/25)
- 22日(火) ALT訪問、フッ化物洗口
- 23日(水) 読み聞かせ(6年)、職員会議⑦
- 25日(金) 全校チャレンジテスト漢字③
PTA校地整備②(17:00～)
- 26日(土) 週休 大曲の花火
- 28日(月) 代表委員会③
なべっこ打合せ
- 29日(火) ALT訪問
- 30日(水) 指導主事計画訪問(6年・社会)
- 31日(木) あさがお運動③



夏休み中にこんなことがありました

7月20日
小中連携活動

ふるさとクリーンアップ

夏休み初日の7月20日(木)に、小中連携活動の一環として昨年度に引き続き、地域のクリーンアップ活動を行いました。

この日の朝は、各地区のラジオ体操に中学生も参加し、ラジオ体操終了後に体操会場周辺のゴミ拾いを行いました。小・中学生とお家の方々が協力し合い、自分が住んでいる地域をきれいにすることができました。



中学生や保護者の方々と一緒にラジオ体操をしました。



床がピカピカ!

教室の床にワックスがけをしました



この夏休み中に、全ての教室の床にワックスがけをしました。このワックスがけは、教育委員会の計画のもと、約3年に一度のペースで市内の小・中学校で行われているもので、今年度は本校がその対象校になっていました。

蒸し暑い校舎の中で、担当業者の方々が汗を流しながら丁寧にワックスがけをしてくださいました。お陰で、作業前とは見違えるほどの床に生まれ変わりました。



見違えるほどきれいになりました。

8月の図書室

8月の図書室の飾り付けのテーマは「夏休み」と「花火」のようです。今月も本校の図書ボランティア「ぼけっと」さんが見事な装飾に仕上げてくださいました。太陽の光をいっぱい浴びた、たくさんのヒマワリがとても印象的な作品になっています。



大仙市中学生サミット

8月8日(火)、大仙市仙北ふれあい文化センターで行われた「第24回大仙市中学生サミット」に市内の小中学生が招待され、学校を代表して本校から〇〇〇〇さん(6年)と〇〇〇〇さん(6年)が参観しました。



交流タイムでは、中学生に積極的に質問しました。

今年度は、「大仙市の未来は私たちがつくる」のメインテーマのもと、中学生が具体的な取組について協議し、「大仙市中学生サミット宣言」として本市の活性化について発信しました。本校から参加した2人は、中学生の活発な議論を参観し、今後の話合いの進め方等、大いに刺激を受けたようです。

